

# 出張講座レポート④



## 前田工織産資株式会社



### ■講座内容

- ①障害種別の特性に合わせた指導・配慮ポイント
- ②わかりやすい業務指示とは
- ③業務切り出しのポイント
- ④合理的配慮と適切な指導・コミュニケーションとは

### ■テキスト

業務切り出し好材料

企業事例① 障害のある社員のITスキルを周囲に明示し、切り出しを促進  
特徴 業務を“探す”的ではなく、現場から“出して”もらう

・現場の社員がどのようなスキルをもって、業務運営しているのかわからない  
・さんのラインナップスキル、Bさんの開発スキルも見える化して現場にPR

④ そのようなITスキルを持ついるならやって欲しい、と依頼増加  
・今までITスキルがあるとは思っていなかった。という声が多數あり  
・従来物のカラーリングの画面に障害者をしてる社員や、ヨコの絵も障害

業務を切り出す現場の社員が納得させるために  
・障害のある社員がどこまでできるのかを明らかにすることが重要

事業概要	： 合成樹脂・土木建築資材等の製造加工販売 他
従業員数	： 187名（2025年6月30日現在）
実施部署	： 人事グループ
部署障害者数	： 1名（発達障害者1名）

開催日	令和7年12月25日	受講人数	対面 5名
-----	------------	------	-------

当社はこれまで間接部門には障害がある社員が3名勤務していますが、このたび新たに営業管理部門でも障害者雇用を行う予定です。新たなチーフターが学ぶ機会があればと思っていたところ、ホームページで他社様の出張講座事例を拝見して当社にマッチングすると思い、出講を申し込みました。

障害者雇用について基本的に理解しておくことを再認識できました。会社の取り組みとしても良い機会となり、開催して良かったと思います（人事グループ 社員）。基本的な業務進行については、健常者と変わらず、周囲が工夫することでフォロー出来ることがわかりました（営業管理グループ 社員）。

障害がある社員でも働きやすい環境を作りたい。業務切り出しを通じて、業務の棚卸し等も行つてみたい（営業管理グループ 社員）。障害がある社員の特性を理解し、それぞれの適性に応じた業務の切り出します（営業管理グループ 社員）。

### きっかけ

### 感想

### これから